



▲ 5、6年生組体操

江尾小学校（野口是校長）では、五月二十五日、春季大運動会が開催されました。江尾小学校は、健康づくりと児童の自主性を養い、団体生活に必要な規律を身につけさせることを目的に、毎年児童会の主催で春の運動会を実施しています。今年、六十二年度に行われるへき地研究大会に関連する行事のため、春季大運動会となったもの。

うぐん、盛り上がりももう一つ、という父兄をよそに、一年生もまじえて、元気いっぱい演技を披露。五月晴れの楽しい一日を過しました。

## 江尾小学校で 春季大運動会



第199号

発行者  
鳥取県江府町  
電話江尾代75-2211  
編集 総務課  
印刷 (有)富士印刷

### 江府町の人口



(4月30日現在)

世帯数	1,247世帯
人口	4,880人
	(前月比+1人増)
(男)	2,345
(女)	2,535
出生	4
(男)	2
(女)	2
転入	22
(男)	14
(女)	8
転出	22
(男)	15
(女)	7
死亡	3
(男)	2
(女)	1



▲生涯学習の場 明德学園

# 人間性豊かな人の心の温かい

## 町づくりを

# 一九億七、八〇〇万円

以下は、新年度の町政の方向をきめる三月定例町議会の初日に、井上町長から述べた新年度予算案の提案理由と行財政方針の要点を収録したものです。

## 予算編成にあたって

政府は本年度も行政改革と財政の健全化を強力に推進する方針を堅持し、地方公共団体に対しても同様な行財政の改革と健全化に格段の努力を求めているのであります。

このような情勢の中で、本町においては行政の合理化と財政の健全化のために見直しを行っ

ているところでありますが、この時機において一層心して極力健全財政を守り、圧縮予算の中にも産業振興、福祉対策、教育振興、衛生対策、建設対策、地域開発など重点施策を配慮し、一、九七八、〇〇〇千円の予算を編成しました。



▲ 3月定例町議会

### ●歳入

歳入総額  
一九億七、八〇〇万円

### 町 税

四億一、八四〇万五千円

### 内 訳

町 民 税	金額千円	構成比%
固 定 資 産 税	二六七四五	五・九
軽 自 動 車 税	二六七〇五	三・五
	六一二一〇・三	

特別会計予算

	903,320千円
(内訳)	
国民健康保険	307,775千円
簡易水道事業	20,088千円
米沢財産区	10,990千円
神奈川財産区	3,170千円
江尾財産区	600千円
住宅新築資金等貸付事業	17,409千円
老人居室整備資金貸付事業	11,017千円
障害者住宅整備資金貸付事業	6,762千円
索道事業	57,848千円
老人保健	322,452千円
奥大山国民宿舎山荘甘酒茶屋	145,209千円
(いずれも歳入、歳出同じ金額です)	

自動車重量税	10,000,000
地方道路譲与税	7,000,000
自動車取得税交付金	3,000,000
国有提供施設交付金	2,000,000
国庫支出金	2,000,000
県支出金	2,000,000
交通安全対策交付金	2,000,000

国県の支出金、交付金  
三億七、八四七万円

地方交付税  
六億九千万円  
構成費 二四・九%

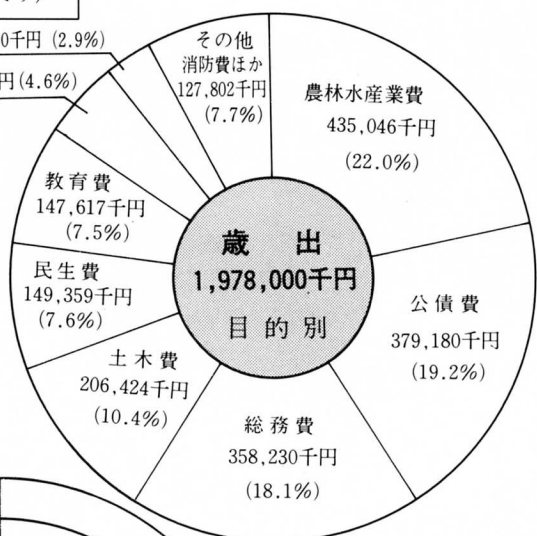
たばこ消費税	一五、五〇〇
電気税	三、四〇〇
木材引取税	一〇〇
特別土地保有税	四〇〇

過疎債	二六、〇〇〇
同和事業債	四、〇〇〇
公有林野債	四、〇〇〇
県道改良負担金事業債	一〇、〇〇〇
義務教育施設事業債	一、五〇〇

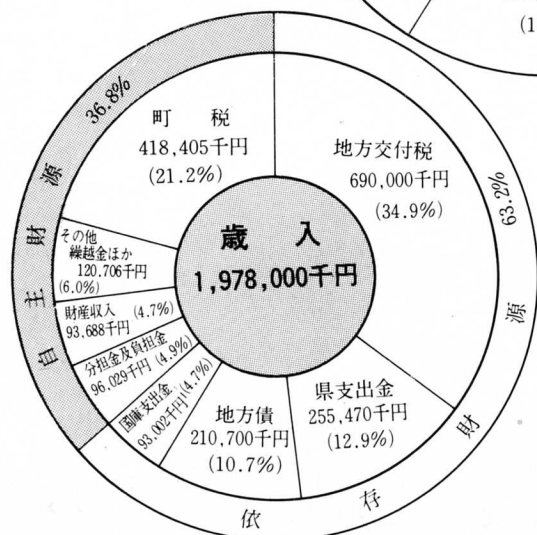
地方債  
二億一、〇七〇万円

分担金及負担金	六、〇〇〇
使用料及手数料	八、四〇〇
財産収入	三、六八八
寄入金	四、〇〇〇
繰入金	二、九四〇
繰入金	三、二五三
繰入金	三、二五三
繰入金	三、二五三
繰入金	三、二五三

その他の歳入  
二億八、〇四二万五千円



●歳出  
歳入・歳出予算の構成は次の通りです。  
性質別にみてもと普通建設費がトップで三四・一%、ついで人件費が一九・七パーセントになっています。



性質別	億 千円	%
人件費 (非常勤を含む)	388,836	19.7
物件費	179,626	9.1
維持補修費	16,548	0.8
扶助費	19,744	1.0
普通建設費	674,931	34.1
公債費	379,130	19.2
貸付金	21,500	1.1
繰出金	33,647	1.7
投資及出資金	30	—
積立金	6,240	0.3
予備費	18,000	0.9
補助費	239,768	12.1

# 総 務 費

## 3億5,823万円

# 住民参加の町政を

### 総務管理費

三億〇一〇六万六千円

### ■一般管理費

一億三九四一万円

町職員給与是正について本町においては、五等級制の職務による給与体系を上位等級へのおたり運用を行わず準法してまいりましたが、今後における職務給与の体系を補強するため以後二ヶ年間で是正しようと計画しております。

なお、本年度において本町各行政委員会の非常勤特別職の職員及び区長の報酬の改正実施を行いたく存じます。

### ■文書広報費

五三二万八千円

情報社会において、町行政の正確な情報を早く通報するため

町報、週報の層充実を図り、また住民の意向の吸収に努めたく存じます。

### ■財産管理費

二、五八八万一千円

### 登記事務費

一五二万二千円

昭和五十七年度より町に登記事務嘱託員を設置し、旧来分(合併前の分)を含むほとんど一万五千筆の未登記の解消を計つてまいりました。以後は、発生の都度登記事務を完済しております。

### 防災行政無線施設

### 置事業

二七九万円



▲総合計画審議会

集中豪雨、豪雪、洪水等の自然災害及び林野火災などに対処し、地域住民の避難、応援、防災、鎮圧等に即時対応するため情報連絡の強化を図るものであります。

### ■企画費

五三六万三千円

### 行政調査委員会

五〇万円

### 総合計画審議会

九五万円

本町の自然条件は、大南山麓に位置し、蒜山高原に接する自然美豊かに水資源にも恵まれ、標高一四〇mから一、四〇〇mの間に点在する集落と耕地、山林、原野、河川、道路、線路各

種施設など総面積一二五平方km、林野率八三%の土地柄であります。

本町の自然美と陰陽を結ぶ交通ルートの要衝にある本町の将来を展望し今後の繁栄を期し、住民参加のもとに総合計画を策定し、低成長下の経済社会の価値感の変わりつつある現代社会の情勢を踏まえて、産業振興と地域開発の施策を進め、人間性豊かな人の心の温かい町づくりを模策し、計画を確立いたしたく存じます。

### ■住宅団地調査費

一〇〇万円

米子経済圏に位置し、本町の立地条件を踏まえ、先端技術の時代、地場産業と地元労働条件の実状に照らし、適合する工場誘致の方策を含め、時代的情勢に備え、町民の住宅造成計画にタイアップする方向の住宅団地造成について実地の条件調査を行うものであります。

### ■集落経営基金

二、一八〇万円

この制度は昭和五十五年俣野川揚水発電による地元協力を元資として創建され全町集落均等指数により、集落の自主的経

営、福祉、産業、文化等活動助長に資するものであり、この基金は各集落のために永く保全活用される事を期待するところであります。

### ■姉妹町経済交流負担金

五〇万円

両町は山と海の自然と産業の相対性を持っており、産物と生活の有無通ずる経済交流を模索し、両町の生産団体及び商業機構を通じて経済交流する方策と両町住民の経済生活効果の調査など、両町の事務レベルの企画委員会を発足させ、その成案を粗材とした行政交渉を通じて、両町の合意点を得たいと存じております。

### ■江尾駅無人化対策費

三四六万九千円

前年度に引き続き江尾駅には経験者を配置し町内外旅行者の利便を守りたく存じます。

なお、将来の展望として奥大山の観光開発並びに都市と農村の交流促進の施策推進の見地からも駅用務のかたわら、駅舎活用を通じ観光案内、産物紹介、交通案内、商工振興などに有効な活用の方策を研究いたしたく存じます。



# 生活路線を維持

## ■過疎バス対策

五〇八万五千元

生活路線を維持するために維持負担金を覚悟するのは当然ですが、現今のマイカーの普及は益々定期バスの維持が困難となっていることも事実であります。通学、婦人、老人の行動にはバスの運行は不可欠であるにもかかわらずバスは企業経営上維持費助成無くしては成立し得なくなつて来ております。

本町におきましては六路線中五路線まで国の過疎バス維持助

成の対象から脱落するほど利用者が激減して来ております。

昭和六十年度的に本町がこの路線維持のために負担すべき維持負担金は一二、八〇四千元であります。

この状況に対処して本年度は町費負担を先行して利用最低限度を守り、また運行回数を減少、合理化するなど国の維持助成対象の二種路線に復帰の方策を図り、昭和六十二年度を見越し代替バス委託方式を検討する方針であります。



▲3路線が経費全額負担の過疎バス

## ■電源地域産業育成支援事業

### 事業

一、六六四万九千元

本年度より通商産業省において実施される本政策は、全国の大規模電源立地の市町村の産業育成と支援事業が目途とされており、本町としてはこの認定を受けたく立案したものであります。本町の自然条件を育て観光開発と観光農業、地場産業の育成を骨子に、商業の振興、工場の誘致、総合計画の推進を図るのであります。

## ■交通安全施設整備費

一八二万五千元

交通安全施設を整備するため本年度反射鏡四基、防護さく一ヶ所、バス待合所一ヶ所、改造一ヶ所、安全標識一ヶ所をそれぞれ実施するものであります。

## ■中国電力俣野川揚水発電運開記念事業

### 電運開記念事業

二五〇万円

昭和四十九年調査工事着工、昭和五十五年三月本工事着工以来続行されて来ましたが本工事もいよいよ本年十月第一号機の運転を見る予定であります。これ

を記念し、中電当局の記念行事に併せて本町においても記念の行事を行い、更に湖岸に記念植樹による並木道造成を行いたく存じます。

## ■運動公園管理費

一、五二二万九千元

体育館電気料

基本料金 二、四〇〇千円

使用電気料 四五六千円

グラウンド電気料

基本料金 一、八六〇円

使用電気料 七五八千円

これに対しまして使用電気料は使用者負担方式を原則とし、基本料金は全額町負担で運営する方式をとっております。この基本料金の総額は四、二六〇千円の見込となりますが、これに対する財政負担を見越し、昭和五十九年度に運動公園運営基金五〇、〇〇〇千円を創設して預託し、運用益二、五〇〇千円を充当するものであります。本年

# 真に明るい社会を建設

## ■同和对策事業費

一億五、九四六万五千元

### 環境福祉対策

四、四一〇万二千元

内訳

- 下水排水路改修工事費 七千円
- 墓地道路改良工事費 二万五千円
- 葬儀場整備工事費 二万五千円



▲昭和60年度事業で完成した水泳プール

上小江尾橋取合改良工事 一、三三〇千円  
 自動車特別訓練費 三〇〇千円  
 明道児童館費 三、三三〇千円  
 生活相談員設置費 二、三三〇千円  
 同和教育推進協議会費 一、〇〇〇千円  
 地場産業研究調査費 二〇〇千円  
 同和对策研修育成費 一、四〇〇千円  
 同和对策負担金 二、五〇〇千円  
 同和对策負担金 二、五〇〇千円  
 高校大学進学奨励金 三、六〇〇千円  
 就職支度金補助金 六〇〇千円  
 住宅新築資金等貸付事業 一、七四九千円

### 農林業対策

一億〇六三万八千一円

### 内訳

ほ場整備工事費 一六、七〇〇千円  
 暗渠排水工事費 二〇、〇〇〇千円  
 農道新設工事費 一、六〇〇千円  
 農道舗装工事費 三、三〇〇千円  
 共同利用農機具購入費 三、三〇〇千円  
 林道舗装工事費 六、六七〇千円  
 経営改善資金利子補助金 三、三〇〇千円  
 近代化資金利子補助金 四、〇〇〇千円

### 商工業対策

四四六万九千円

### 内訳

同和小口融資利子補助金 四、〇〇〇千円  
 同和中小企業特別融資貸付事業 四、〇〇〇千円

### 教育対策

四五一万三千元

内訳  
 同和教育費 三、〇〇〇千円  
 同和教育集会所費 一、〇〇〇千円  
 同和教育をますます推進充実にして社会全体が学習に参加し、まず自分自身の意識改革から、みんなで実践活動に入る心構えで

## 心の通い合う福祉社会を

学習いたしましょう。  
 地域改善対策特別措置法も昭和六十二年三月をもって時限となりますので、基本法の制定を實現し、対策事業を推進し真に明るい社会の建設を期するところであります。

## 民生費

一億四、九三五万九千円

### 社会福祉基金

二五〇万円

■社会福祉基金  
 本基金は昭和三十七年に創設して以来全町の善意と親切で積み上げられてまいりましたが、本年予算をもって二、五〇〇千円を積立て三三、〇〇〇千円の基金が造成されることになりました。

この基金の運用益(預金利子)一、七〇〇千円は本会計を通じて法外援護の福祉対策に充て、私は福祉は隣組からを原点として政策福祉と心の福祉の融合する福祉社会の育成にとめたく存じます。

### 老人福祉費

一、七五七万一千円

### 明德学園

三〇四万六千円

### 内訳

老人福祉明德学園 一、八五八千円  
 老人学級明德学園 一、一八八千円

老人福祉と老人学級を吻合させ何人も老境に至った時、まず自分自身の健康を守ることを第一義とし、人生観に希望と活力と若さを取り戻し、生涯教育を体得するための明德学園であります。町は明德学園を充実し、郷土の先達の健康と希望の人生を守らなくてはなりません。この念願は本町永遠のものでなくてはならないと存じます。

### 心身障害者福祉・母子父子福祉

## 衛生費

9,119万 2 千円

## 健康まつりを開催

衛生は、自治行政の極めて重要な行政でありますので一層に努力をいたしたく存じます。本町は町民健康まつり大会な

身体障害の苦痛や母子、父子の人生上の苦痛を理解し合う社会の啓発にとめたく存じます。

## 労働費

二、三二八千円

本町の勤労所得生活者は常勤者(源泉徴収票所持者)二、一〇〇人前後であります。これらの生活条件の向上と健康管理の増進のため労働行政の充実を図りたく念願する処であります。

### し尿処理費

三三、七六万六千円

### 塵芥処理費

一、七八五万二千円

日野町・江府町・日南町衛生施設組合の本年度予算額は一〇二、〇〇〇千円でありまして、これ



▲ゲートボールで健康づくり

に対し本町の負担額は三二、七六六千円であります。  
過去一ケ年の利用実績は全体で三、一〇一台、内本町利用実績は一、〇六五台であります。

### ■上水道費

四九三万九千円

簡易水道事業特別会計へ繰出す平常年度分は四、二五八千円であります。  
本町の水道の普及率は九九・五％が現状であります。しかし既設水道の老朽化も目立つ地区もありますので、関係地区に対し行政指導を行っていく方針であります。

## 農業の新時代化と

# 高度先端技術の時代に対処

## 農林水産業費

四億三、五〇四万六千円



▲標高500m以上の高冷地に広がる大根畑

## 農 業 費

3 億 3,652 万 7 千 円

### ■農業総務費

二、五四四万一千円

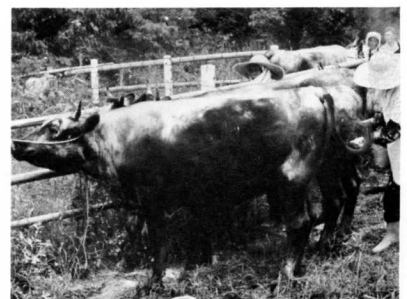
農業の新時代化と高度の先端技術の時代となり、バイオテクを導入した新農業は、好むと否にかかわらずもうやってくる。今後これに対応活用の準備が急がれるところあります。江府町は総面積一二五平方kmであります。林野率は八三％であります。山林原野であります。その内標高五〇〇m以上の高原にありましては、高冷地野菜団地として大いに活用している事は、自然条件を高度に農業開発しているものであり、今後も一層育成してまいりたく存じております。水田利用再編対策については昭和六十一年度の本町面積は一〇六・〇haでありまして、売渡限度数量は五二、二五九袋となっております。この限度数量は昨年に対比しますと一〇〇・五％となり二九五袋の増であります。

### ■農業振興費

三九四万四千円

#### 内 訳

野菜生産団地対策費 一、〇〇千円  
公社畜畜産基地建設 二五七千円  
事業費 二〇千円  
肉用牛放牧地推進助成 三〇千円  
肉用牛放牧一貫モデル事業 四九千円  
和牛農家が減少し、県下においても因伯牛の大減少をきたしておりますが、これの振興を図ることは、中山間地帯にとって極めて重要と存じております。私がかねてより、和牛の復興振興方策は長期放牧方式を実施することを第一義と主張してきています。長期放牧とは五月より十一月月上旬迄放牧する事を行っているのです。しかしながら放牧にも問題点が無い訳でもありません。その第一は死産補償の問題であります。本町はすでに死産発生時は家畜共済の残額を全額補償する制度を実施しております。その第二は牧野による病虫害であります。



▲昭和59、60年で行われた栗尾地区農人と牛の村づくり事業

衛生管理は県の家畜保健所、共済連など公営的に援助を加え、更に本年は爪菜沢牧野に山焼を条件に高率助成し、牧野の病虫害駆除と草生改良を図りたく計画いたしております。

また、冬季舎飼用乾草造成、牧野改良、衛生対策など充実し長期放牧により一、二頭農家の創設を推進する所存であります。酪農経営につきましても完全舎飼から一歩前進して里山放牧、搾乳、草地造成、乳缶輸送ヘルパーステム並びに生乳の地域利用の方策などについての開発は基本の問題と存じます。更に、雄子牛の共同肥育の問題は古くて新しい課題であり、町、酪連、農協においても検討に入り対処すべきものと存じます。

## 農林関係の主な事業

事業名	事業費 (千円)
• 土地改良事業費	28,050
• ほ場整備事業費 美用栗尾地区暗渠排水畑地造成	35,418
• 農村基盤総合整備事業 俣野地区及び三平地区 (助沢、下蚊屋)農道舗装 日南山水路 沢農道舗装	27,415
• 県営ほ場整備事業費 下蚊屋地区ほ場整備(畑地)	16,625
• 農業構造改善事業費 貝田地区暗渠排水 新井手改修	19,578
• 山村振興対策事業費 荒田豆ヶ原農道舗装 大河原下井手改良	11,698
• 地域農政対策事業費	2,215
• 同和対策事業費 舟谷地区暗渠排水、舟 谷農道舗装、久那谷林 道舗装、経営改善事業	106,381
• 自然休養村対策事業	4,902
• 都市と農村交流事業	2,300

## ■ 公社営畜産基地建設

### 事業

(事業主体  
鳥取県農業開発公社)

江府町実施期間  
昭和六十一年～  
昭和六十三年度

これは、町と公社と事業実施委託契約により実施する事業であります。

すでに日南町で事業が開始され、日野町、江府町、溝口町も参加し、日野郡全域に和牛、乳牛等畜産施設整備を実施し、畜産経営の規模拡大、資質の向上を図り、畜産主産地づくりを目的とするものであります。

## 昭和六十一年度計画 事業費

二、五五七万一千円

内訳  
畜舎 四棟 六、五〇千円  
農機具導入(堆肥散布機) 一、〇〇千円  
工事雑費 四六〇千円  
附帯事務費 三二千円

## 林業総務費

八〇七万七千円

町行造林費  
四、五五八万二千円  
昭和三十七年度から町行、集落分収造林を毎年継続して実施

林業費  
9,851万9千円

# 山林活用方策を 研究改善

してまいりました。これは、林野率八三%の本町の土地条件の命ずる政策として進めているわけであります。

本年度においても一五haを町行新植の計画であります。本年度末で町行分収、公団分収、県行分収を合わせ、本町の公営造林事業の総面積は一、二〇七haとなります。この他に町内民有造林事業を合わせますと一、〇二〇haの事業を町内全造林農家と森林組合の協力によって成し遂げられており、本町の公営民有の造林事業は、合計二、二七haの事業実施を行っているものであります。

このようにして山国江府町の住民意識として、目先の経済指数にとらわれず、また今日の木材価格の低迷のみに惑わず、しかし、「息切れ」のしないよう自分に合った方式で、楽しみながら根気よく続けられて来ております。

「木は植えておけば寝た間も育つ」と言う、山に住む者の人生観は森林造成とその経営の原点であり、ここから出発するものと確信しております。

ただ、これからの森林造成は、杉、松の一辺倒に限らず杉、松を基盤林としながら松の虫害、病理対策と共に闊葉木、特殊木、樺、山桜、用材栗、朴、アスナロ、キワダ、漆など、その他地生の觀賞花木などを含め、収穫サイクルと林地経営の立体的な混合林は山の自然からも、これからの森林造成の近代形態であるとも思考するところであります。

従って、町の林業行政といったしましては、公営、民有にかかわらず林地活用方策、造林事業の形態、樹種混合方式、林産振興方策など研究見直しなど対処いたしたく存じます。

町行造林については、今後特に全林分の育成と管理に一層重点的に努力いたし、民有造林に対しても同様奨励してまいりたく存じます。



### ■林業労働者の技術養成と償償制度の強化

林業労働者共済の充実に協力し、組織労働班の育成と技術の向上を期してまいります。

林業労働者共済事業負担金 一七千円  
組織労働班育成補助金負担金 六萬千円  
森林適正管理対策事業費 四三五千円

森林経営の合理化と森林の自然環境保全と公益性を守り、治山治水に資したく念願するところであります。

## 商 工 費

### 五、二〇三万八千円

経済不況の状況下に経営見直しと体質改善について、真剣に取り組まなくてはなりません。

まず、商工会の育成を図り、指導性を強化し、制度金融の活用と同時に指導金融を充実して計画経営の実行を図るべきものと存じます。本町におきましては、昭和四十九年六月俣野川揚水発電調査工事以来十年間にわたって工事が続行されてまいりましたが、本年十月第一号機の運転開始をもって工事は完了するわけでありませぬ。

しかしながら農用ダム工事並びに横断道路工事も現在集約折渉が行われつつありますが、この二つの大工事が六、七年間以上にわたって行われると思われ

ます。これも同じく本町住民経済と町内業界の活性化の大きな力となるものでありますので、周到なる準備のもとに対応し、地元住民経済並びに業界活性化のために努力いたしたいものと存じております。

### 商工会活動補助費

一六〇万円

### 制度金融対策

一億二、九〇〇万円

### 内 訳

中小企業小口融資貸付金 六〇〇〇千円  
店舗改善資金貸付金 一五〇〇千円  
同和中小企業特別融資貸付金二四〇〇千円

## 観 光 費

### 1,448万5千円

### 高冷地の自然条件を活用

本町の観光行政の基本は、自然保護を第一義として守つてい

くべきものと確信しております。

自然そのものが本町の観光資源であり、しかも本町の観光は産業の大きな柱であります。

本町は、奥大山全域にわたって町外の資本攻勢による施設開発は受け付けておりませぬ。それは、開発は地元住民の手による農山村の開発の主体を守ろうとするからであります。

すなわち農業構造改善事業、大規模草地造成事業、放牧団地造成事業、高冷地野菜団地事業、自然休養村事業、さらに電源地域産業育成支援事業など、すべて地元住民の手による観光農業を基本として地域開発を推進してまいりました。

森林造成も森林の持つ治山治水の公益性と、資源造成の施設として造林を続行してまいりました。

近代社会の観光は、自然の風光のもとに歴史、文化を尋ね、その土地柄の風俗、人情にふれ、産物を求め、しかも近代科学と文化施設を見聞し、活用し、さらにはスポーツに参加するとい



▲甘酒茶屋一帯

### 奥大山国民宿舎 甘酒茶屋経営事業

## レクリエーション 施設を充実

### 収 入

事業収益	145,209千円
営業収益	144,879千円
営業外収益	330千円

### 支 出

事業費用	145,209千円
営業費用	139,096千円
営業外費用	2,599千円
予備費	3,514千円

国民宿舎甘酒茶屋の利用実績は、スキーリフトの設置とともに利用が進展し、さらに自然観光の観光需要も増え、今後自然とスポーツと体験観光の時代意

識とともに利用増加を目的として、適切に対処してまいりたく存じます。そのためにはさらに駐車場の拡張整備が急務と存じております。

今後の営業振興方策としては、まずスキー誘致を始め、新緑、夏山、紅葉の四季を通じて自然観光とレクリエーション、野外学級、野外スポーツ、野点会、写生会、キャンプ基地など、近代社会の多様な観光需要の受入態勢を用意しなければなりません。なお、観光道路通過のマイカー旅行者の一時休憩など観光客対応の施設充実を図りたく存じます。

その一案は、自然博物館、自然植物園、遊歩道コースの新設その二案は、山の小動物園の設置

その三案は、子供遊具の丘など新設充実について研究対処いたしたく存じます。

さらに、昭和六十年度的においてレストハウス、愛称「青嵐」を建設致しましたことは、今後一〇〇人単位の旅行チームの同時食事が一ヶ所、六、七〇人程度二ヶ所、他に大広間が六四畳となりましたので今後運用に工夫し、大いに活用いたしたく存じております。



うように多様であります。

これに対処する本町の観光方策としては、まず奥大山の大自然環境のもとに甘酒茶屋並びに鏡ヶ成休暇村を拠点として、新緑登山、紅葉、スキートの四季を通じて奥大山の自然を広く天下に紹介し、合わせて古戦場江美城の歴史と、永祿年間の城下町江尾と十七夜物語、有形、無形の文化財、西日本随一の俣野川揚水発電所、町立運動公園、また

大山と烏連峯を仰げば山毛樺の樹海に沈む溪流の音、広々と続く芒野高原など風光は雄大にして明媚であります。しかも近代科学、文化、民俗、スポーツ等をも含め、観光行政はあわてることなくどこまでも自然を守り、しかも高冷地という自然の条件に順応し、かえってこれを活用し開発するなど、誠実に自然を生かし、近代観光需要の本命に対処すべきと存じております。

## 土木費

二億〇六四二万四千円

内訳

- 道路橋梁総務費 二〇、四九千円
- 道路維持費 二、七〇千円
- 道路新設改良費 三、二六千円
- 交通安全施設整備費 一、八五五千円
- 中国横断道路対策費 二、八六千円
- 建設機械整備事業費 三、三七千円
- 公営住宅管理 三、五〇千円
- 町道俣野宮市線及び久連洲河崎線の早期完成をめざし本年も道路施工いたします。
- 道路維持につきましては舗装の損傷箇所を補修いたします。
- 中国横断道関連といたしまし



▲江尾貝田三ノ沢線の除雪

て、路面排水工事の一部を公団の委託により着手いたします。除雪対策といたしまして、現在所有のロータリ除雪車が老朽化してきましたので更新を計画いたしましたしております。



## 教育費

1億4,761万7千円

体力育成・人間形成  
の基礎教育を

内訳

- 教育総務費 六、〇〇千円
- 小学校校費 四、三四千円
- 中学校校費 二、三四千円
- 社会教育費 八、七八千円
- 公民館費 九、三五千円
- 文化保護歴史資料館費 一、八五千円
- 明德学園 一、八六千円
- 福祉明德学園(一、八五千円)

## 索道運営事業

### 収入

事業収益	57,848千円
営業収益	57,268千円
営業外収益	580千円

### 支出

事業費用	57,848千円
営業費用	39,789千円
営業外費用	10,704千円
予備費	7,355千円



前年度の利用実績を踏まえ、本年度におきましては、リフト利用者延 285,000人を対象に事業計画を立案いたしました。貸スキーにつきましては、貸出回数4,000回を見込み計上いたしました。

同和教育費 二、四四千円  
同和教育集会所費 一、五九千円

小中学校の義務教育課程における教育振興につきましては、教育委員会において懸命に努力がなされているところでありますが、近年の経済社会の環境は、義務教育該当年次の生徒児童をも巻き込んでいく現状であります。

それは、経済社会の実状から受ける影響は当然であります。しかし、純心無垢の生徒児童の受ける影響度は深刻であります。更には家庭にも、学校の環境にまでも侵入してくるわけであり

今や生徒児童の社会にも悲愴な悲劇が頻発しております。しかし決して対岸の火事ではありません。この実情は極めて悲しい極めて憂慮すべき事態であります。

義務教育の課程の年次は、まず体力育成の基礎教育であり、人間形成の基礎学習であり、能力練成であり、知学修得の場でもあります。家庭も学校も特に社会も物質以前の自覚に立ち、勤労の汗の肌にしっかりと子供を抱き育てる心構えをもって、最大の努力と責任を果たさねばと反省するところであります。近年小中学校の生徒児童の減少が目立ち、小中学校ともにその規

見 込 世 帯	706世帯
被 保 険 者 数 (内老人)	1,925人 (360人)
療 養 費 総 額	447,401千円
一般療養費	241,137千円
老人療養費	179,900千円
高額療養費	26,364千円
被保険者1世帯当り療養費	633,712 円
被保険者1人当り療養費	232,416 円
保 險 税 総 額	116,490千円
被保険者1世帯当り保険税	165,000 円
被保険者1人当り保険税	60,514 円
国 庫 支 出 金	172,987千円
療養給付費負担金(一般)	63,521千円
療養給付費負担金(老人)	29,230千円
普通調整交付金	33,170千円
特別調整交付金	3,524千円
事務等負担金	6,063千円
療養給付費交付金	37,479千円



本町におきましては、近年療養の給付費が伸び、本年度において療養費の総額は、前年度に対比し、28・7%の増となり447,401千円を見込む状況であります。

これは過去3ヶ年の実状を踏まえて計上した見込であります。

これを被保険者1世帯当り平均して見ますと633,712円となりますので、止むなく保険税の増額を見込まざるを得なくなって参りました。

従って保険税につきましても総額126,490千円を見込まなければなりません。

この総額を1世帯当りに平均いたしますと179,160円となりますので、一般会計より10,000千円を繰入れ保険税の1世帯当りの平均を165,000円とし、減税の措置を講じたものであります。にもかかわらず昨年に対比いたしますと13・9%の増額となっております。

本年度におきましては、一層健康診断の徹底と老人の健康管理など健康行政の充実を図りたく存じます。

## 国民健康保険事業



▲体力づくりも基礎教育の1つ (山陰少年テニス大会)

現代の社会教育は、被教育者と指導者の意識ではなく、社会自体が横溢する教育意識を持つことを理想として互いに努力いたしたいものと存じております。互いに学習し合い、励まし合い、諫め合う人間関係が育つことが基礎であります。社会教育が自然に育つ環境を仮想するとすれば、それは打てば響く人間関係の輪のひろがりからと存じます。

本町においてもこの社会教育に参加し、自己学習を深めつつ、また学習の輪を広めつつ、そして団体運営に最大の努力を続けている婦人会、青年団をはじめ全町地域、職員団体また区人総参加の社会学習の意識を育てたいものと念願するところであります。

また、芸能、文化、芸術、美術においてもこれを奨励し、同

### 保健体育

三、五四二万九千円

明徳学園は、社会教育老人学級と老人福祉と吻合による町立生涯教育学級として運営するものであります。健康管理を第一義として生甲斐の人生観を育て、若さと希望を養う場としてますます充実してまいりたく存じます。

本町は町民のスポーツ参加が旺盛でありますことが誠に嬉しいことなのであります。その中に健康があり、友情があり、文化があります。ことに青年期の皆さんにはスポーツの技能に挑戦する練成を重ねるなど、スポーツに不良なし、との確信をもって社会教育の振興につとめたく存じます。

模の縮小も余儀なき状態であり  
ます。  
しかしながら、山地の自然豊かな環境は、義務教育年次の体育、知教、徳育の最良の環境と存じております。  
これを初等の全教育の上に生

### 社会教育

か、教育委員会始め町政においても最大の努力を致さねばと存じております。

現代社会の実相に対し、社会人として正しくこれに対処する学習の輪を広げていくことが、社会教育の大いなる分野でありましよう。その学習に参加するそのこと自体が社会教育と存じます。

### 明徳学園

一一八万八千円

### (老人福祉明徳学園)

一八五万八千円)

好の同志のサークル活動を期待しこれを育成致したく存じます。

社会体育を振興し、心身ともに健康な社会を目標に努力してまいります。

運動公園の建設以来昼夜を通じて活用がなされておりますことは、本町の社会体育振興の上からまたのもし限りであります。

# 記念行事を開催

## 俣野川発電所第1号機運開



▲満面に水をたたえる俣野川ダム湖

俣野川揚水発電所につきましては、昭和四十八年八月調査し、事の申し入れを受け、町といたしましてはまず池の内、武庫の直接関係部落に出頭要請を行い、

昭和四十九年 六月 調査工事着手  
 昭和五十一年 十月 調査工事終了  
 昭和五十二年 七月 本工事申し入れ  
 昭和五十五年 三月 本工事着手  
 昭和五十九年 九月 下池ダム湛水開始

昭和五十九年十二月  
 ダム直結小発電運転開始

昭和六十一年十月  
 本発電一号機運転開始予定

昭和六十二年十月  
 本発電二号機運転開始予定

(二、一〇〇kw)  
 (三〇〇kw)

と、このような経過をもって、よいよ本年十月一号機の運転が開始されることとなりました。その間関係地権者並びに地域社会のご理解とご協力に対し深く敬意を表すところであります。この一号機の運開によりまし

て関連する土木施設はほとんど完成し、導水路、排水路、及び関連施設については一号機所属のルートは完成と看做し、昭和六十二年には二号機の運開が予定されております。この一、二号機の完成の時点において、一、二号機の所属ルート及びダム施設の固定資産及び償却資産の総額すなわち課税標準額は七五〇億円前後と見込むべきかと存じます。

これに対する町税額は十億五千万円前後と見込むことができると存じております。この一号機の運転開始に当り、中電当局の始動式に合わせ、町といたしましては記念の行事を実施し、永く地元と共に在る発電所の運開を記念し、幸先を祝いたいと存じております。

その記念行事といたしましては、ダム左岸に新設されました湖岸林道の路肩に湖水に面して、桜と山楓の記念並木道3kmを造成し、更に対岸の県道側の湖岸にも同様の記念植樹を行い、ますと湖水に映える周囲6kmの風致豊かな春秋に富む景観が百年の将来に向って出現することを目ざしたいと存じております。これからを含めて本年は一、二号機の運開を町民の皆さんと一緒に記念したいと存じます。

### 早期着工を要請

### 中国横断自動車道建設

本道路はすでに買収業務はおおよそ終了しております。本町は、現在、岡山県地内ルートの集約待ちの感じではありますが、期成同盟会といたしましては、目下建設省並びに道路公団当局に早期着工を要請すると同時に、岡山県関係当局及び関係町村の早期集約を求めているところであります。

従って、本町内におきましては関係作業道、その他準備工事の先行を求め、また、その一部については公団の委託により町において代行施工も予定いたしております。

この高速自動車道施工を通じて、本町における住民経済の活性化に資することを期待するとともに早期完成による地域開発計画を進めてまいりたく念願するところであります。

町長日誌

\* 四月



- 1日(火) 在勤、大山山ろく
- 2日(水) 開拓事務所長来庁
- 3日(木) 張所長・婦人会役員来庁
- 4日(金) 保育園入園式、県自然保護課長・中国電力俣野川発電所建設所長・倉吉電力所長来庁
- 5日(土) 武庫地区役員来庁
- 7日(月) 町内各小学校入学式
- 8日(火) 江府中学校入学式
- 9日(水) 武庫老人クラブ総会
- 10日(木) 町身体障害者福祉協会総会
- 11日(金) 人権養護委員委嘱状交付式
- 12日(土) 町教育委員会、川筋老人クラブ総会
- 14日(月) 農用ダム関係打合せ会、町内弔問

## 下蚊屋農用ダム建設 繁栄の基礎づくりを

昭和43年より計画され、本町としては要請を受けて対処してまいりました。特に地元水源地集落において次第に集約が進み、物権買収の交渉も円満に進行中ではありますが、まだ完済には至っておりません。私は町長としてこれまで一貫して水源地集落の立場を守り、犠牲の強要の無いよう誠実に対処して来たつもりであります。

私は、むしろこの機会に水源地として協力する代償として、水源地の再生産基盤の造成、環境整備公害対策、保償条件等について最大限の善処を折渉して来たつもりであります。農林水産省当局を始め、県当局においても誠意ある施策の提示がなされて今日に至っております。

私はまず水源地の地元にとって歴史的にも悔の無い、「却って福となす」を貫き、本事業が水源地も配水地帯も共に繁栄の完結を念願し、最後まで誠実に対処してまいりたく存じております。

なお、この農用ダムの建設に合わせ450万tの湛水の下流への平常流量、プラス100万tの放流を対象に町営の小水力発電所を建設する構想を農林水産省並びに通産省に対し計画を出願している次第であります。

この計画は順次ダムの集約に合わせ具体化させてまいりたく存じております。



▲広域農道（笠良原地内）

広域営農団地農道は、昭和四十五年度より地元設計協議以来工事は県行をもって続行されてまいりました。本町地内においては、全線の中で一番延長も長く、難工区も多かったため、昭和五十六年度に一応貫通はしたものの引続いて補完工事、舗装工事、災害対策工事など続行のうえ、本町地内の完工を見るに至りました。本道路は前後を通じ実に十七年の永い期間にわたる工事でありました。

しかし、その間次々と完工区間ごとに、そのつど共用開始がなされて来ておりますので、今さら忘れた感無しとせないのではありませんが、いよいよ完成したわけです。

本農道は全延長からすると、西伯郡中山町、名和町、大山町、淀江町、米子市、岸本町、溝口町の大山麓中腹地内を経て本町俣野に至る四十二kmに及ぶものであります。

本町地内におきましては吉原、

## 奥地山林原野の価値開発と

### 町内最高標高の集落を真横に結ぶ広域農道完工

中大河原、須郷、御机、笠良原下蚊屋、俣野（うれいし）に至る延長一・四kmに及ぶ道路でありまして、これは総延長四・二kmに對する三九%約四割を占めるものであります。

この道路は全区間の中に既設県道併用区間二kmを含めると総延長は六・三kmとなるわけでありまして、新設農道のみで総工費は七〇億五七、〇〇〇千円となります。これに対し、地元八市町村の地元負担は約五億円弱であります。本町はその地元負担の三割三分を負担するものであります。

本農道は建設構想におきまして、県道併用を含むことになっておりましたが、本町といたしましては、奥大山地帯を鉢巻に結ぶ道路として、地元負担は当然に覚悟の上で、極力県道併用を排し、なるべく新設農道を延長し、しかもなるべく標高の高い位置にルートを開く方針のもとに、町内最高標高の集落を真横に結ぶ道路の完成を期してきたものであります。

本道路の本町地内ルートの建設完成については、十七年の年次を経ましたが、本町将来の住民生活の上において、また産業文化、交通、観光など、特に奥地山林原野の価値開発の上において、歴史的な条件整備の基礎の

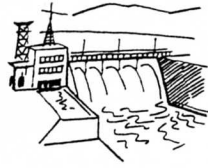
15日(火)	町遺族会総会、町内葬儀
16日(水)	町民生委員会、N・H・K取材来庁
17日(木)	岡照雄氏祝賀会、町内弔問
18日(金)	西部町村会(米子市)
19日(土)	在勤、町内葬儀
21日(月)	区長会、分館長会、体育協会総会
22日(火)	江府町農協総代会、東京出張
24日(木)	(発電関係市町村全国協議会理事人会総会) 県建設業協会日野支部総会(米子市)
25日(金)	明德学園入学式、ゲートボール場完成式
26日(土)	農用ダム関係打合せ会、中国電力俣野川発電所建設所長来庁
28日(月)	江府町農協完成式、総合計画審議会、商工会経営講演会、日本きのこセンター所長・農協組合長来庁
30日(水)	俣野川発電対策会議

一つを成し遂げ得たものとして、町政の上においても記念すべき一つの事業であると存じます。その間英断をもって本事業の遂行について格別のご努力をい

ただきました農林水産省並びに県ご当局に対し深く敬意を表すところであります。

本事業に対し用地、物権の提供を賜り、終始熱意あるご協力を賜りました関係集落並びに各個人、団体各位に対し深甚の敬意と感謝を捧げる次第であります。

私は本年適当の時季に現地において、町民各位と共に完工を記念する機会を得たく存じております。



- ◇ 江府町では本年度通産省の
- ◇ 電源地域産業育成支援事業の
- ◇ 指定を受け、町の未来をえが
- ◇ く、「江府町の総合的な産業
- ◇ 育成ビジョン」を策定するこ
- ◇ とになりました。
- ◇ これは、一〇〇万キロワッ
- ◇ ト以上の発電所所在市町村に
- ◇ ついて実施されるものです。

### 町内全域にわたって 水質を調査

### 泉源開発対策



▲ダム放水坑の水質調査

俣野川揚水発電は地下発電所でありますので、サージタンクより五〇〇mの落差の間総延長一三km前後に及ぶ大小のトンネルが掘削されています。その坑道の随所に湧出している地下水についてもその水質を後日のためにも分析しておかねばと存じ、特に放水坑はダムの湛水、発電と同時に永久に水没いたしますので、昭和五十九年発電以前に一斉に水質の分析調査をいたしたわけであります。

更に町内集落についても一部調査を行いましたところ、発電所放水坑湧水の中に温泉成分を発見いたしました。  
結果は、  
ナトリウム 七五二・〇mg

カルシウム	三七四・九mg
カリウム	六・六mg
重炭酸	一、五五九・〇mg
マグネシウム	五九・八mg
硫酸	一〇〇・〇mg
可溶ケイサン	七八・三mg
塩素	四三一・五mg

これでは温泉法上の成分として特に重炭酸の相当以上の成分量であることの分析結果を得ました。この調査は京都大学防災研究所に要請し、防災研究調査中、水質分析を願ひ発見を得た結果でありました。

これに基いて鳥取県衛生研究所に要請し行政調査を受けましたところ、同様の結果を得たものであります。その後昨年引き続き京都大学、鳥取大学、岡

山大学理工学部の教授陣の学問的助言を受け、目下さらに学問的に実地調査を重ね、試掘の具休策について慎重に検討いたしたく存じております。

もちろん調査の結果については、議会並びに町民に報告のうえ、町の方針の決定が行われるわけでありますがそれに至るまでは引続いて学術、技術、工法、事業量、事業費等についてさらに調査研究を行いたく存じます。本年度中において試掘方針の決定を見るに足る調査を進め、議会並びに町民に報告致したいものと念願しているところであります。

以上、昭和六十一年度一般会計予算案並びに特別会計予算案を提出いたしました次第であります。

### 今年度の事業ビジョン策定

は、六十年代後半に開通予定の中国横断道・電化された伯備線・俣野川ダム湖・大山の南裾野の美しい自然を生かしポスト夏大根となる主力高冷地野菜と土産品の開発、観光産業の振興、運動公園を拠点としたスポーツ合宿村など町の活性化を図るため将来の計

画を作成するものです。

また、このビジョン作成のために、関西山陽の大学・企業を誘致のための立地条件調査、宿泊施設の見直しなども行われ、一、六六五万円の前算が計上されています。

この事業は、県に連絡調整会議、町に検討会が設置され、県、町、住民が一体となって江

府町の将来を考えていこうというものです。

町ではこのビジョンをもとに昭和六十二年度から人材育成事業（大学専門学校派遣、企業派遣、先進地派遣）・マーケティング事業（流通経路の確保、市場拡大）・産業育成融資事業など具体的に施策が進められます。



# 江府町の未来をえがく 産業育成ビジョン策定

各地区の特性を生かした  
将来の構想は………

## \* 高貴に自然とふれあう地域

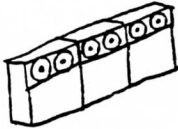
• 観光施設の  
統一的利用



• 各種イベント



## \* ハイテク産業地域



• 企業誘致

## \* 農産物研究地域 (ポスト大根)



• ブロッコリー試作・土産品

• 新作物研究

## \* スポーツ振興 地域



• スポーツと観光で  
入り込み客増加

## \* 観光開発地域 (新規)

• テント村と休養の場

• 大学企業の研修の場



昭和60年度電源立地交付金事業

(単位千円)

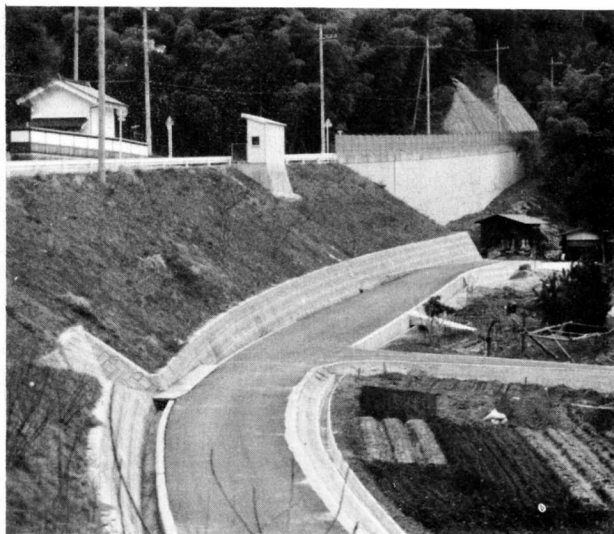
事業名	事業量	事業費	内電源交付金
		千円	千円
農道長通し線	L=552m W=3.0m	6,032	5,700
池ノ内 テレビ共聴設備	61戸 アンテナ5基	10,294	10,130
池ノ内 有線放送設備	59戸 アンプ3台	5,960	5,900
農道武庫線	L=348m W=3.0m	21,339	20,900
運動公園 給水施設	400㎡	25,787	25,000
林道ヒキジ線	L=480m W=3.0m	39,938	14,580
洲河崎水路	L=787m	25,364	7,500
新道防火水槽	1基 40㎡	5,702	2,300
池ノ内防火水槽	1基 40㎡	3,312	1,540
尾上原防火水槽	1基 40㎡	3,311	1,530
尾上原消防ポンプ 格納庫	1棟木造 18㎡	1,673	1,640

電源立地交付金事業

こんな施設が完成

昭和四十九年度に電源三法交付金制度が設けられ、発電所が建設される市町村とその周辺に対して、公共施設を整備するための交付金が交付されることになりました。これは、発電所の建設によって安定した電気の供給を受ける利益の一部を地元地域に還元し、地域の生活向上に役立てようとするものです。本町も、昭和五十五年三月俣野川発電所の建設認可によってこの制度の適用を受け、総額十一億七千六百万円の交付金事業枠を取得し、昭和五十五年度から地域環境の整備をはかるための事業を行っており、六十年には農道、テレビ共聴設備、林道等の次の工事が完成しました。

この事業は六十一年度で完了しますが、他の国の制度事業も併用して、今までに六十二件の事業が実施されました。



▲ 農道武庫線



▲ 洲河崎水路

老人居室整備資金 貸付のご案内  
障害者住宅整備資金



町では、昭和六十一年度の老人居室整備資金、障害者住宅整備資金の貸付を次の要綱で募集します。希望者は、役場民生課福祉係に申し込んで下さい。(なお、老人居室の整備資金の貸付金は、六十一年度が最終貸付となります。)

◇老人居室整備資金

- (貸付対象者)
  - 一、町内に居住し、親族である老人(六十歳以上)と同居する者
  - 二、老人の専用居室を必要とし、自力で専用居室の増改築を行うことが困難な者
- (貸付金の限度)  
一戸当たり一〇万円以内



◀ 新設された栗尾地区簡易水道

## 生活環境を整備

### 年金積立金還元融資事業

私たちが月々納めている国民年金の保険料は、積立てられて老後に直接年金として支給を受けることになっていますが、国では、この積立金の有効な利用のため、町や村の各種生活関連施設整備の資金として融資するようにしています。

本町では、昭和60年度にこの融資を受けて次の事業が行われました。

#### 昭和60年度年金積立金還元融資対象事業

事業名	事業量	事業費	
		千円	内年金資金 千円
栗尾地区給水施設	計画給水人口 50人	13,723	4,300
甘酒茶屋 レストハウス	鉄骨1部中 2階 288㎡	55,250	36,600

現在、国民年金に加入中の人で、厚生年金や共済組合など、国民年金以外の公的年金制度から障害年金を受給している人は、国民年金の保険料納付が昭和六十一年四月分から法定免除されることになりました。

これは、一人一年金の原則により、将来障害年金と老齢年金を重複して支給できなく

#### 国民年金

### 厚生年金・共済組合などの 障害年金受給者は届け出を

なったためです。

したがって、今まで納められた国民年金保険料は、納付期間に応じて、特別一時金としてお返しできる場合があります。

これに該当する方は、受給中の年金証書、印かんを持って役場民生課福祉係までお出かけ下さい。



▲レストハウスは1月1日オープン (青嵐)

(貸付金の利率・償還期間及び償還方法)  
 一、貸付利率 年三・五%  
 二、償還期日 十年以内  
 三、償還方法 元利均等半年賦償還

#### ◇ 障害者住宅整備資金

(貸付対象者)  
 一、町内に居住し、親族である障害者(身障手帳一、二級及び療育手帳A)と同居する者  
 二、障害者の居室等を増改築

または、改造することを必要とし、自力で行うことが困難な者

#### (貸付金の限度)

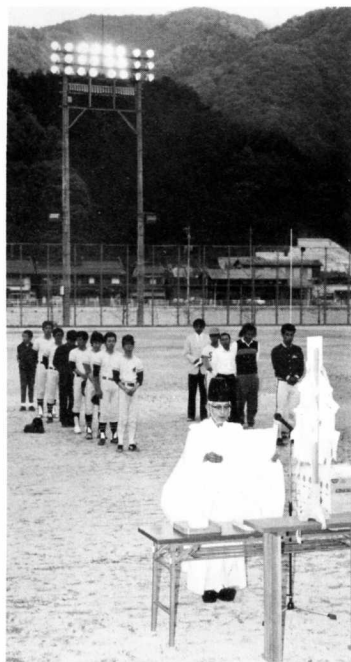
一戸当たり一六五万円以内

(貸付金の利率・償還期間及び償還方法)

一、貸付利率 年三・五%  
 二、償還期間 十年以内  
 三、償還方法 元利均等半年賦償還

◇申込みメ切 六月三十日(月)

◇老人居室整備資金、障害者住宅整備資金貸付事業は、年金積立金還元融資です。



▲ 開 会 式

# 運動公園の ナイターが はじまりました



五月八日、運動公園で、町民待望の「ナイター開き」が行われました。  
神事、開会式のあと、テニスコートに続き総合グラウンドで始球式が行われ、本年のナイターゲームのスタートを切りました。

みんなのための公共施設です。大切に使用しましょう。  
○使用時間を厳守しましょう。  
（後かたづけ、清掃も時間内に終り、係員の確認を受けて下さい。）  
○空かん等は持帰り、または、必ず所定のごみかごへ。  
○運動器具等は、大切に扱っていきましょう。

## 晴れの叙勲

下村さん

### 勲六等単光旭日章



昭和六十一年春の生存者叙勲で、佐川の下村矛盾さん（七十一歳）が、自治功労者として勲六等単光旭日章を受章

されました。  
下村さんは、昭和三十二年江府町議会議員に当選以来四十六年にわたり地方自治発展に尽くされました。  
この間には、経済常任委員長、副議長、議長に就任され、議会の健全運営に、また、地域振興の発展に貢献された功績によるものです。

## 入学生は160人

### 明德学園で入学式

四月二十五日、日輪閣で明德学園入学式が行われました。式には、井上理事長ほか来賓、町関係者らが参列して祝福し、入学生を代表して自治

会長・川崎仁さんが、「老人憲章の実践につとめるとともに、人生の先輩としての自覚をもって現代社会の情勢におしつぶされることなく、心の時代を回復するよう努力します。」と謝辞を述べました。  
今年の入学生は、普通科五十人、高等科三十七人、研究科七十三人の計百六十人です。第一回目のこの日は、井上理事長から本年度の重点施策の方針等について説明を聴き今後、十回にわたり、教養科目、研究視察、社会奉仕活動が行われます。

## 会長さん



子供の国保育園  
保護者会会長  
川上 富 夫 さん  
(御机)

江府町唯一の子供の国保育園に、人間形成の最も大切な基礎づくりを託しています。先生と一緒に勉強して行きたいと思います。

# 国民健康保険

ご存じですか

## 高額療養費は

### こんなとき支給されます



国民健康保険の保険給付のなかに、高額療養費の支給制度があります。これは、医療費の自己負担が高額で、一定額を超えた分を国保が負担するという制度です。次のような場合に支給されます。

**1** 一カ月の自己負担額が五万四千円を超えたとき

病気やケガで同じ人が一カ月の間に同一の医療機関で五万四千円（市町村民税非課税世帯の人は、三万円）以上の自己負担額を超えた額が申請により支給されます。

**2** 同一世帯で一カ月に三万円以上が2回以上あった場合

同一世帯の人が同一月に医療機関にかかり、二人以上がそれぞれ三万円（市町村民税非課税世帯の人は二万一千円）以上の自己負担をしたとき、該当者の自己負担額が「世

帯合算」して五万四千円（三万円）を超えた額が申請により支給されます。

**3** 年4回以上該当のとき

同一世帯で過去一年の間に四回以上、高額療養費に該当



した場合は、四回目からは三万円（市町村民税非課税世帯の人は二万一千円）を超えた額が申請により支給されます。

**4** 長期継続して高額な治療が必要なとき

長期にわたり、継続的に高額な治療の必要な病気で厚生大臣の指定するものについては、一か月一万円を超えた額が支給されます。

○現在指定されている病気が腎不全

(1)人工透析を必要とする慢性腎不全

(2)血友病

★申請手続など詳しいことは、役場民生課国保係にお尋ね下さい。

## 文芸

### 俳句会

#### 花



好もしや畳の上の花の屑  
井上 中山香  
仰ぐ花見下ろす花の盛りかな  
遠藤 花影  
花影のゆれて有情の宵なりし  
見上げてはまた一休み花の坂  
川崎 藤枝  
落城の悲憤偲ぶや花の雨  
逡巡と出て来花冷えしるきかな  
加藤 泉翠  
ともかく花見日和となりけり  
風の向きかわりかわりて花開く  
清水 純子  
宵闇に浮き上りたる花明り  
兄の名も小さく花の慰霊塔  
古川 園香  
目をおとし歩ゆめば落花あることに  
風荒ぶ日のよそよそし桜かな



♥ 保健婦からひとこと

こんなにも多い虫歯

= 1人あたり6.0本 =

三歳児健診での結果

(虫歯を1本以上保有している子供の率)

56年(江府町)	84.3%
(日野郡)	82.4
57年(江府町)	85.4%
(日野郡)	78.2
58年(江府町)	75.0%
(日野郡)	81.3
59年(江府町)	66.7%
(日野郡)	75.3
60年(江府町)	80.4%
(日野郡)	77.7

56年から徐々に虫歯の子供は減少しつつありましたが、60年は日野郡内でも最も高率で、8割の子供に虫歯がありました。

おやつとの与え方が甘いおいしいものから食事を補うためのものと変わりつつありますが、まだまだ簡単にあげられるスナック菓子・チョコレート・ジュース等のおやつが多い様です。

虫歯の予防には、①甘いものをできるだけやめる ②食後に歯をみがく ③乳児期は食後に口をすすぐ ④はやめに治すことは、多くの方が注意していますが歯が生えてきたらやわらかいものばかり食べさせないで歯ごたえのある固いものをよくかんで食べることはあまり知られていません。固い生野菜を食べることは口のまわりの筋肉、あごの骨の発達に役立ちます。あごの骨が小さいと一定の数の歯が生えるときにきれいに並びきれず歯ならびが悪くなるので歯に汚れが付きやすく、洗い流しにくくなり、ひいては虫歯になりやすくなります。

この様に歯みがきだけでなく、歯の生える前からの心がけ、日常の食生活での注意が大切なのです。また乳歯の手入れが永久歯の健康にもつながります。



環境週間

\* 6月5日~6月11日\*

「みんなで築くよりよい環境」

自然に恵まれた江府町を守るため  
地域美化運動を進めましょう。

人の動き



4 月 届

お誕生おめでとう

小江尾 土居智彰 卓磨二男  
袋原 藤原 諒 猛長男  
武庫 梅林 綾 克寿長女  
下安井 徳岡舞子 健長女

ご結婚を祝します

西田 隆志 米子市  
川端 香月 江尾から

ごめい福を祈ります

本三 松尾真吉 90歳 寛宅  
本三 吉岡省吾 41歳 修一宅

清水 悟 佐川  
新田 幸 日野郡日南町から  
永井 浩二 小江尾  
南波 明美 俣野から  
見山 満 宮市  
阿部 弘美 東京都江戸川区から  
大岩 豊 下蚊屋から  
竹田 昌子 大阪府貝塚市  
加藤 貴教 島根県大原郡  
神庭 三枝 江尾から  
濱田 裕二 小江尾  
斗光美代子 岐阜市から  
末次 勝也 美用  
大坪 美苗 北九州市門司区から

下安井宮本きみ系67歳敏温宅

ありがとうございます  
「ごめいしました」

四月中寄託分

香典返しとして

本三 松尾 寛殿  
(父真吉様ご逝去)  
本三 吉岡 修一殿  
(長男省吾様ご逝去)  
下安井 宮本 敏温殿  
(妻きみ系様ご逝去)

御 机 伊達 静枝殿  
(ご本人様退院)

特別寄付

柿原 加藤満寿幸殿  
竹ぼうき 五十本

佐川 前田 政子殿  
(ご本人様退院)  
御机 山崎 喜香殿  
(ご本人様退院)  
荒田 林 喜代隆殿  
(ご本人様退院)  
佐川 下村 好枝殿  
(ご本人様退院)  
本一 藤田 久人殿  
(ご本人様退院)  
杉谷 山野 博寿殿  
(ご本人様退院)  
下蚊屋 筒井 豊子殿  
(ご本人様退院)

善意銀行受払報告

- 三月末累計額 四百四十七万五千八百四十五円
- 四月中寄付額 十四万三千円
- 香典返し 七万円  
快気祝 七万三千円  
支出額 七万三千円
- 需用費 六千五百二十円  
負担金 二千元  
積立金 二百五十万円
- 四月末累計額 二百八万三千二百二十五円

以上、社会福祉事業にご寄付いただきました。厚くお礼申し上げます。  
江府町社会福祉協議会